

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E1121005		ソルフェージュ (Solfegel)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	1	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用	前学期	金1	日本語			単独						
担当教員	氏名 清水 慶彦 E-mail shimizu-y@oita-u.ac.jp 内線 7388														
授業の概要	楽譜の読み方・書き方など、音楽の基礎を学び、いわゆる「聴音」ならびに「視唱」などの基本的な訓練をおこなう。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 楽譜の基礎など、音楽科教員として必要な基礎的素養を身につけ、実施できる。															
目標2 拍子とリズム、音高と音階について理解し、楽譜として記述できる。															
目標3 平易な旋律聴音ならびに、平易な和声聴音を実施できる。															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									10						
授業の内容															
1	ソルフェージュとはなにか														
2	楽譜の書き方														
3	拍子とリズム														
4	リズムの聴取と書き取り														
5	音高と音程														
6	さまざまな音程の聴取と書き取り														
7	音階と旋律														
8	平易な旋律の聴取と書き取り														
9	旋律の聴取と書き取り														
10	旋律の視唱														
11	二声の旋律の聴取と書き取り														
12	和音と和声														
13	平易な和声の聴取と書き取り														
14	旋律と平易な和声の聴取と書き取り														
15	旋律聴音と和声聴音の実施														
ラーニング	A:知識の定着・確認	実技・実演をともなう能動的修学。				工 夫 そ の 他 の									
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	音楽的能力の維持・発展のための日常的な練習(20h)													
	事後学修	視奏・視唱・聴音などの技術的問題の解決のための練習(25h)													
	想定時間合計	45													
教科書	授業中に資料を配布する。ただし、各自で五線紙を用意すること。														
参考書	授業時に適宜指示する。														

成績 評価 の 方法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	授業中の課題	50%										
	授業中の小試験，試験等	50%										
	授業中の課題，小試験，試験等により総合的に評価。											
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											